



学校通信

令和元年12月2日
東京都立葛飾盲学校長
田島 忍
(第9号)

第46回 寄宿舎祭

寄宿舎部 相澤 裕一

樹々の紅葉も散り始め、街並みは赤や緑のイルミネーションで賑わいを増し、早くも年の瀬を演出し始めています。寄宿舎では12月13日(金)に行われる寄宿舎祭に向けて、代表者を中心に準備や舎生発表のリハーサルに取組みを進めています。

寄宿舎祭は保護者の方々をはじめ、学級担任の先生方や地域の方々、ボランティアや介護等体験生の御協力の下で、おかげさまで昨年度は270名を超える参加者となり大成功を収めることができました。

第46回を迎える寄宿舎祭、1階食堂ではパンやフランクフルト、駄菓子コーナーなどの模擬店、2階フロアや図書室ではモグラたたきにボウリング、ビー玉転がしのゲームコーナーを企画しています。

舎生発表のテーマは

『**僕たちの 私たちの 寄宿舎 ～ オー! 舍っていいぜ! ～**』です。

舎生が、自分の思いを込めた寄宿舎の魅力を寸劇や映像、歌で発表します。また、舎生それぞれの『舍っていいぜ!』を会場の装飾として展示しています。生き活きとした寄宿舎の魅力を、ぜひご覧ください。

<学芸会>

11月9日(土)、学芸会が本校体育館で行われました。全校生徒から募集し、中学部生徒会が取りまとめ考えた、今年度のスローガンは、『絆を深め、心に刻め、令和初の葛盲学芸会』でした。午前中は、幼稚部は「はらぺこてんとうむしのピクニック」、小学部は「音楽の祭典オトリンピック」、中学部は「オズの魔法使い～葛盲エボリューション～」をそれぞれ発表、参観しました。午後はPTAコーラス「栄光の架橋」、青葉中学校の吹奏楽演奏と、素晴らしい音色を聴き、フィナーレを迎えました。どの学部も令和初に相応しい、素晴らしい発表となりました。<文責：田中>

